

お金で買えない大切なもの

「ガールスカウト茨城県第41団」

団委員長 石本 訓代さん



ガールスカウトの活動

1910年イギリスで活動が始まり、1920年には日本にも伝わったガールスカウト活動は、世界145の国と地域で、約1,000万人の会員が活動する少女と女性のための団体で、就学1年前の少女（5歳）から終生、女性ならどなたでも参加できる活動です。

日本では47都道府県すべてに活動拠点があり、約4万人のガールスカウトが活動しています。

茨城県では、これまで42の団が誕生しており、私たち茨城県第41団は、平成16年10月に発団しました。

活動を始めるきっかけは

自分が子どもの頃、スカウト活動をしている同級生がいました。そういう人達はリーダーシップ力があり、進んで人のためになることをしていました。ガールスカウトへの憧れは、その頃に培われたものだと思います。

やがて結婚して女の子を授かり、娘にガールスカウトの経験をさせたいと思いました。初めて門

を叩いたのは愛知県第78団で、娘が小学3年生の時でした。1年後に鹿嶋に転居し、近くでガールスカウトの団を探しましたが、近くにはなく、水戸の茨城県第2団に転団し、ガールスカウトの活動に参加していました。

初めは保護者としての関わりでしたが、やがてはリーダーとして、今は団委員長として、思えば長い年月さまざまな形でガールスカウトの活動に携わってきました。鹿嶋市でのガールスカウト活動は、丁度15年目になります。

活動の喜びは

我が子以外の子どもたちの成長にも関わることでしょうか。長く活動を続けている子は、10年以上にもなりますので、長い間その子の成長に寄り添うことが出来、成長する姿を近くで見ていることがいちばんの喜びでしょうか。

ガールスカウトの活動は、その成果がすぐには見えにくいのですが、さまざまな自然体験や集団活動などをとおして自ら考えて行動する力や、リーダーシップ能力、

高い自己肯定感が身につく、世界的視野を広げる機会にも恵まれています。さまざまな機会に子どもたちの成長が実感できた時、大きな感動を覚えます。

これからの抱負は

まずは会員を増やすことですね。先程も触れましたが、ガールスカウトの活動は、一人ひとりの育ちを丁寧に見守り、自ら行動できる力を育む活動です。そのため、年代に応じた目標に向かって、少女が主体的に計画、実行していく活動を指導者の資格を持ったリーダーが支援していきます。

このような活動が身近で行われていることを知っていただき、より多くの皆さんに会員になっていただけるよう頑張っていきたいと思っています。

最近感じていることは、指示待ちの子どもが多いということです。成長する過程で自分で考え行動する力を身に付け、自ら進んで人の役に立てるような人間に育てたいと思っています。

PROFILE

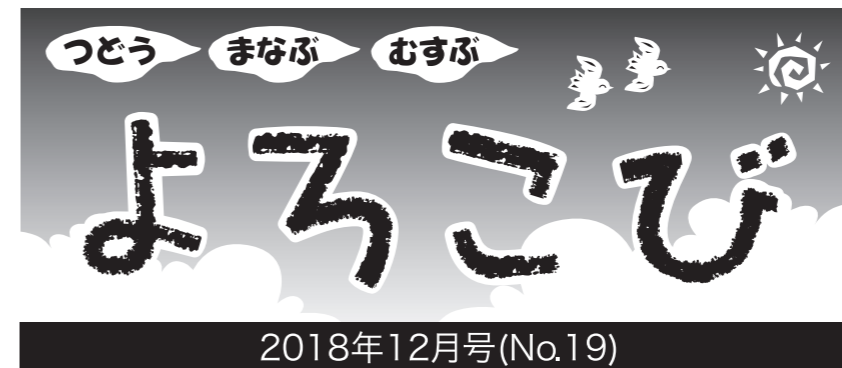
■石本 訓代 (いしもと のりよ)
 行方市 (旧麻生町) 生まれ、埼玉県育ち
 立教大学文学部日本文学科卒業
 茨城県第41団2代目・5代目団委員長
 趣味: ガーデニング
 好きな言葉:
 「為せば成る為さねば成らぬ何事も
 成らぬは人の為さぬなりけり」



▲白浜少年自然の家でのキャンプファイアー



▲キャンプでの食づくり



CONTENTS

- 2 第16回鹿嶋市まちづくり市民大会
- 2 オリピック・パラリンピック ブース紹介 (公民館)
- 3 しみせん 市民センのひろば ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊 三笠地区 「わいわい食堂」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり 「ガールスカウト茨城県第41団」 団委員長 石本 訓代さん



第17回 芸術祭

華道の部

会場全体写真

手芸の部

写真の部

絵画の部

和紙絵の部

第12回 て〜ら祭

鹿嶋仏像彫刻友の会 活動展示

KASHIMA キッズダンス応援隊

鹿嶋市舞踊連盟

清真学園フライングエッグヘッズ 野外ステージ

コール・クリンゲル ステージ発表

鹿嶋市立鹿島中学校 ステージ発表

第16回鹿嶋市まちづくり市民大会

『未来に生かそう!市民がつくるオリンピックレガシー』

～私たちが考えるおもてなしプログラム～

平成31年2月3日(日)

13:30～開会
13:40～まちづくり市民・団体表彰
14:15～講演・シンポジウム

- 会場** 大野まちづくりセンター
多目的ホール
- 主催** 鹿嶋市・鹿嶋市教育委員会
鹿嶋市まちづくり連絡協議会
鹿嶋市まちづくり市民センター懇話会
- 主管** 第16回鹿嶋市まちづくり市民大会実行委員会
- 問合せ** 鹿嶋市まちづくり市民センター
TEL:83-1551 / FAX:83-1553
※事前の申込は不要です。
当日会場にお越しください。

まちづくり市民大会は、地域の様々な課題や市民の主体的なまちづくり活動における成果と課題を共有し、目指すべき方向性を確認する機会として毎年開催しており、今年で16回目になります。

今年度は、オリンピックという歴史的なイベントの開催会場となったこの機会に、改めて鹿嶋市の魅力や課題について点検し、来訪者にとっての魅力的なまちづくりや「おもてなし」事業などを検討し、取り組んでいくことによって、オリンピック終了後も市民にとっても住みやすく、他に誇れるまちづくりにつながっていく「オリンピックレガシー」の創出に取り組んでいきたいと考えています。

当日は高崎商科大学の熊倉 浩靖(ひろやす)先生の基調講演や活動実践者、オリンピック関係者などによるシンポジウムを予定しております。



▲昨年度のまちづくり市民大会から

オリンピック・パラリンピックブース紹介



まちづくり市民センター
東京2020オリンピック開会式まであと587日(12/15現在)。各公民館で設置している「オリンピックブース」をシリーズで紹介します。地域の子どもや大人がアイデアを出し合って作り上げた力作です。お近くにおいでの際は是非ご覧ください。



市民センのひろば



鹿嶋ふるさとガイド会長
河本 正志さん(神野向)

鹿嶋神宮を中心に観光ガイドをするボランティアグループです。月例会・研修会等、自己研鑽の場として使用させて頂き助かっています。



てら祭では毎年「無料の占い館」を設営させて頂き、100名を超える市民の皆様にご来場頂いております。受講生にとって有意義な活動となっており、感謝です。

かしま灘楽習塾
「推命気学」「万葉古代史」講師 石井天晟さん(荒井)



カサブランカ代表
市川 禎之さん(神野向)

第1、3日曜日の月2回スポーツ吹矢の練習に励んでいます。までの距離は6mから10m必要なので、広い多目的室でゆったりと練習や体操ができます。

地域レポート



三笠地区 子どもたちがホッとする居場所づくりを原点到
～ わいわい食堂 ～



▲代表の横田さん(右)と二宮さん

三笠公民館を拠点に、平成29年8月26日にスタートした『わいわい食堂』。活動の原点は、「孤食の子どもたちがホッとする場所になれば……」と話す代表の横田さん。茨城県社会福祉協議会主催の研修会に友人と参加したことを契機に、自分たちでもできる活動を検討した結果、14人のスタッフによって『わいわい食堂』として事業の展開がされることになりました。

毎月第3土曜日の昼12時から食堂はオープンします。子どもたちは100円、大人は200円でスタッフの愛情とアイデアいっぱいの手作り昼食を頂くことができます。この値段で食事を提供するための食材調達には、地元のスーパー、農協、生協、地域の個人の方々など、多くの皆さんの支援と協力によって成り立っているとのことでした。

また、食材を活用した調理方法は、若いお母さんたちにとっても参考になっているようです。

「美味しかったよ!とってくれる子どもたちの言葉が何よりうれしい」と笑顔で話す横田さんと二宮さん。わいわい食堂はシニア世代の皆さんにも人気があり、なんとなく「ふるさと食堂」の雰囲気も漂っているそうです。

「今後は、地域の皆さんに『わいわい食堂』を知ってもらい、子どもたちが参加しやすいように、食堂と同時開催のイベントの企画・実施にも力を入れていきたい」と、三笠公民館の支援を受けながら計画が練られており、12月は「ダディーズバンド」のメンバーによるミニコンサート、年が明けての1月はけん玉講習会が予定されています。

問合せ:三笠公民館(Tel:82-6211)



▲スイカ割りのイベントも実施



▲楽しく、おいしく、昼食の様子



▲毎回 愛情たっぷりのメニュー

掲示板

館内ウォームピズ実施中です

- 実施期間 12月1日～3月31日
- エアコンは室内温度20℃設定です省エネ、節電にご協力下さい。
- ご来館は暖かい服装で防寒着、保温性の高い機能性下着等を着用するなどの対策をお願いします。



休館日のお知らせ

まちづくり市民センターの年末年始の休館日について下記の通りお知らせします。

■12月28日(金)午後～1月3日(木)
なお、月初予約は1月4日(金)9:00受付とさせていただきます。
(電話予約は10:00受付)
来年もよろしくお願いたします。